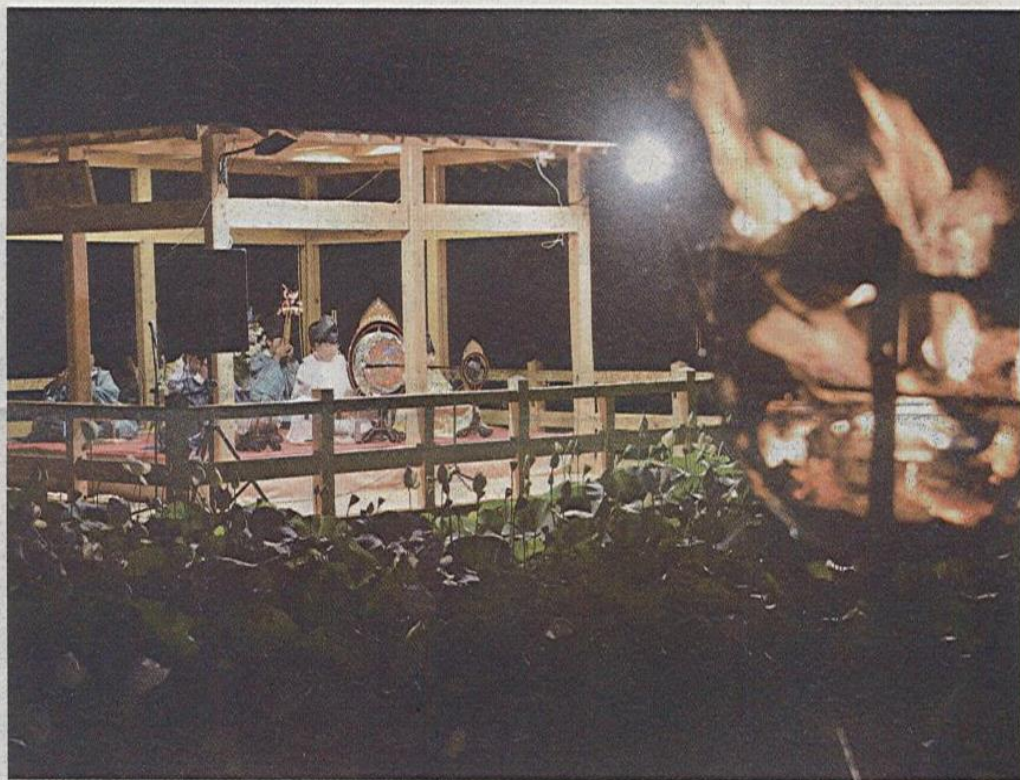


平成30年6月26日(火)紀州新聞



かがり火が燃える中、初めての雅楽を観賞

雅楽と舞妃蓮を楽しむ

蓮公園(北吉田)で古典芸能の夕べ

御坊市藤田町の北吉田蓮保存会(佐竹成公会長)は24日、吉田八幡神社近くの「舞妃蓮の郷蓮公園」で古典芸能の夕べを開いた。100人以上が訪れ、美しい琴の音色や初めて行われた雅楽に聞き入りながら、華麗に咲く舞妃蓮を楽しんだ。

17日に続き、今年2回目のイベント。オープニングは箏曲研究会「菊明会(菊櫻佐和子会長)」のメンバー11人が池中央の東屋「荷風亭」で演奏。「燕」「千鳥の

曲「OKOTO」の3曲を披露した。佐竹会長は「古典芸能を生で聞く場をつくるために東屋を建てた。奈良時代の再現とまではいかないが、こんな雰囲気でした」と味わってもらえれば」とあいさつ。

このあと、御坊喜長会による「羽衣」や、初めてとなる御坊楽処和雅楽が「遠き山に陽は落ちて」「越天楽」「陪臚」の3曲を演奏。最後は日高川町鐘巻、道成寺の小野俊成住職が「蓮と仏法」をテーマに話した。